

2018年9月11日

各位

プラウドライフ株式会社

“日々の生活に彩りを添える活動を”  
慶應義塾大学 落語研究会のボランティアによる「落語口演」を開催

ソニー・ライフケアグループの一員であるプラウドライフ株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長 藺田 宏)では、有料老人ホーム「はなことば」にご入居のお客様に向けて、日々、多彩なレクリエーションを展開しています。先般、2018年8月7日、「はなことば新潟」・「はなことば新潟2号館」において、慶應義塾大学落語研究会メンバーによる「落語口演」が開催されましたのでお知らせ致します。

<当日の様子>

初々しい着物姿の大学生3名が登場。

一番手は、前座の1年生による口演。新入生ならではの緊張感を漂わせつつ、いつしか、ご入居者の笑顔を引き出していました。続いて3年生2名による口演。3演目続けての披露でした。さすがはベテラン、堂々としたものです。

ご入居者の中には、最初から最後まで、ずっと優しい笑顔を絶やさず聞き入っている方。時折、目頭を押さえながら笑っている方。「落語があるからと来てみたら、こんな若い人達でびっくりしちゃったわ!!」と嬉しそうにお声掛けされる方など、皆さん、一緒に楽しめました。

口演後の質疑応答では、

「演目を覚える練習はどのようにしているの？」

「将来は落語家になるの？」

「着物は自分で着付けをしているの？」

「勉強と落語の両立は大変ではないの？」

などなど沢山の質問を頂戴し、大学生の皆さんがひとつひとつ丁寧に、ご入居者の皆さんと得意の笑いを交えながら、ご高齢のご入居者と一緒に過ごしている光景が印象的でした。

口演にあたり、大学生の皆さんは「はなことば」でご入居者と一つ屋根の下で寝食を共にし、イベントだけに留まらない、世代間コミュニケーションの場が実現しました。本口演は、他拠点での開催も順次進めていく予定です。

当社は、コンセプトである【脱介護】の基、ご入居後も“介護”を意識することのない、日常生活を楽しめるよう様々なサービス提供を継続し、ご入居者の更なる満足度の向上に努めてまいります。

以上

【口演者・演目】

- ・ボルシャック亭ダブルブレイカー(1年生) 演目【道灌】
- ・14代目 乱痴(らんち)(3年生) 演目【熊の皮】【転失気】
- ・初代 有栖(ありす)(3年生) 演目【初天神】

当日の様子



【お問合せ先】プラウドライフ株式会社

電話番号: (045) 548-3228 (平日 9時-18時)

担当: 管理部広報 宇羽野(うばの)

ホームページ: <https://www.hanakotoba.co.jp/>